



01



02



03



04



05



06

01/弘前市りんご公園近くを走ると、ちょうど実すぐりの作業をしている時期だった。りんごの品種は、約50もあるそう。02/弘南鉄道大鰐線は、土日祝と平日の一部時間帯がサイクルトレインとして運行。自転車をそのまま車両に持ち込める。03/大鰐駅からすぐの山崎食堂にある大鰐温泉もやし定食を食す。シャキシャキの食感と風味豊かな味が自慢。04/本物と見間違えるほど精巧なつくりをしているりんごの津軽塗パーパワークロイト。05/通りかかった、りんご農園で休憩させてもらう。りんごのコンテナをひっくり返して、ベンチ代わりに。06/1528年に創建された長勝寺をはじめとする、33もの曹洞宗寺院が並ぶ禅林街。

コース3 弘前

走行距離:約28km 所要時間:約2時間

# Apple Fields Forever Ride

サイクルトレインとアップルロードを自転車で漕ぎつないで

# 3

- A** 山崎食堂  
南津軽郡大鰐町大鰐前田34-21  
TEL:0172-48-2134
- B** 弘前市りんご公園  
弘前市大字清水富田字寺沢125  
TEL:0172-36-7439  
<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/ringopark/>
- C** 相馬アイスクリーム商店  
弘前市悪戸鳴瀬136-1  
TEL: 0172-32-6816



弘前といえば、弘前城と「りんご」というイメージをもっている人も多いと思うが、国内最北の私営電車である弘南鉄道も魅力的だ。この電車は「サイクルトレイン」として運行されているので、サイクリストにとっては旅が何十倍も楽しくなる。30分ほどゆらゆらと揺られると、温泉街、スキー場、宿泊施設などが立ち並ぶ大鰐駅に到着。駅からすぐの山崎食堂では、シャキシャキの「大鰐温泉もやし」が食べられ、昔から変わらない店構えが心地いい。

大通りを避け、アップルロードと呼ばれる広域農道を選んで、弘前へと向かう。遠くに美しい稜線の

独立峰が見えたら、それは津軽富士と称される岩木山。道に迷ったらランドマークにもなる。車の往来が少ないので走りやすく、たわわに実る赤いりんごが風に揺れる姿は、まるでサイクリストを応援してくれているかのよう。ときどき袋掛けをしているおばあちゃんたちを見かけたが、収穫の時期にも走ってみたい。途中、休憩するなら、相馬アイスクリーム商店で昔ながらのアイスキャンディーをどうぞ。

また、弘前市内には洋菓子店が多く、50軒以上のお店でアップルパイが売られている。ガイドマップ片手に、食べ歩きならぬ食べ漕ぎを楽しむのもいい。